

親子で学ぶ

中学受験

絶対にはずせない抽象語

説明文攻略のための言葉のセット



なぜ「対義語」と「抽象語」が必要？

- ✓ 国語の文章読解の力ぎになる
- ✓ 筆者の「イイタイコト」がつかめる
- ✓ 論説文・説明文が得意になる

言葉を「セット」で覚えると
世界の見え方が変わる！



① 【最重要】具体 ⇄ 抽象



具体

形や内容がはっきりしている
個別のもの

例：りんご、犬、机、
「ポチ」という名前の犬



抽象

共通の性質を抜き出して
まとめたもの

例：果物、動物、家具、
ほ乳類、生き物

★ 「まとめると何？」を考えるクセをつけよう

② 主観 ⇄ 客観



主観

自分ひとりの感じ方や考え方

「今日は暑いなあ」
「このカレーはおいしい」
(人によって違う)



客観

誰が見ても同じ事実
数字やデータ

「気温は35度です」
「カレーの材料は○○です」
(誰が見ても同じ)

③ 原因 ⇄ 結果



原因

物事が起きた理由やきっかけ

- ・バナナの皮を踏んだ
- ・雨が降った
- ・勉強しなかった



結果

原因によって起きたこと

- ・転んでケガをした
- ・遠足が中止になった
- ・テストの点が悪かった



④ 目的 ⇄ 手段



目的

目指しているゴール
「何のために」

- ・志望校に合格する
- ・健康になる
- ・お腹を満たす



手段

ゴールするための方法
「どうやって」

- ・毎日計算ドリルをやる
- ・野菜を食べる
- ・料理をする



⑤事実 ⇄ 意見 ⑥対比 ⇄ 類比

事実 ⇄ 意見

事実：実際に起きたこと。変わらない。

例：雨が降っている。

意見：事実に対する人の考え方。

例：雨だと外に出るのが面倒だ。

対比 ⇄ 類比

対比：二つの「ちがい」を比べる。

例：日本は湿気が多いが、欧州は乾燥している。

類比：二つの「似ている点」で説明。

例：人生はマラソンのようなものだ。

頻出50語マスタークイズ ①基礎編

おうちの方へ：左の「意味」を読んで、お子様に「言葉」を当てさせてください。

ヒント（意味）	答え（言葉）
守らなければならない決まり	ルール
物事がそうなったわけ	理由
ある原因から生じた状態	結果
目指すゴール・ねらい	目的
力を合わせて事にあたること	協力

ヒント（意味）	答え（言葉）
目的のために力を尽くすこと	努力
育って大きくなること	成長
ある状態から別の状態になること	変化
他と目立って違う点	特徴
かかわり合い・つながり	関係

頻出50語マスタークイズ ②社会編

説明文でよく出る「社会のしくみ」に関する言葉です。

ヒント（意味）	答え（言葉）
その人が受け持っている務め	役割
引き受けて行わなければならない任務	責任
他からの制限なく自分の思い通りにできること	自由
あることを行うことができる資格・能力	権利

ヒント（意味）	答え（言葉）
長い間繰り返し行われ、決まりのようになったこと	習慣
人間が作り上げてきた生活様式や学問・芸術	文化
古くから受け継がれてきた風習や精神	伝統
社会で人が守るべき善惡の規範	道徳

頻出50語マスタークイズ ③論理編

物事の組み立てや理由を説明するときに使われる言葉です。

ヒント（意味）	答え（言葉）
物事の組み立て・構造	仕組み
全体を作り上げている骨組み	構造
中身。そこに含まれている事柄	内容
物事の背後にある事情	背景

ヒント（意味）	答え（言葉）
物事が生じた主な原因	要因
ある物事が成立するために必要な事柄	条件
物事を判断するためのよりどころ	基準
二つ以上のものを照らし合わせて比べること	比較

頻出50語マスタークイズ ④性質・影響編

どのように作用するか、何を表しているかに関する言葉です。

ヒント（意味）	答え（言葉）
そのものが本来持っている特徴	性質
他へ働きかけて変化を与えること	影響
ある働きかけによって現れた良い結果	効果
形のないものを具体的なもので表すこと	象徴

ヒント（意味）	答え（言葉）
心の中の思いなどを外に表すこと	表現
あること。そこにいること	存在
何かをしようとする考え方・狙い	意図

頻出50語マスタークイズ ⑤視点・判断編

物事をどう見るか、どう考えるかに関する言葉です。

ヒント（意味）

答え（言葉）

その人が置かれている地位や状況 立場

物事を見る角度・目のつけどころ 視点

おたがい。かたみ 相互

物事の良し悪しや真偽を決めるこ
と 判断

悪いところを改めて良くすること 改善

ヒント（意味）

答え（言葉）

解決すべき悪い点

問題点

どれくらい大切かということ

価値

何に価値があると思うかの考え方

価値観

かかわり合いのあり方

関係性



まとめ

- ★ 対義語は「セット」で覚える
- ★ わからない言葉は「例えば？」と具体例を作る
- ★ 日常会話で「抽象語」を使ってみる

言葉を知ることは、世界を深く理解する第一歩です！

